

よろこび

日蓮宗 蓮聖会
本山 妙圓寺
長吉山 本誓寺

『よみじぶ』二一五

貫首 齊藤 日軌

四月八日は、お釈迦さまのお誕生日。花を飾ってお祝いする「花まつり」の日です。お釈迦さまは、今からおよそ二千五百年前、ネパールのルンビニの花園でお生まれになりました。

シャカ族の王子としてお生まれになったお釈迦さまは、伝説では、お生まれになつてすぐに七歩進み、右手で天を、左手で地を指差し、「天上天下唯我独尊（てんじょうてんかぜいどくそん）」と宣言されたといわれ、います。この釈尊の地上への降誕の意味は、全人類の心にも仏が誕生したすなわち仏性が顕現したことを象徴しています。ですからこの言葉は「人は誰かが尊い命を持っている」という人類の尊厳を表した言葉です。この時、お釈迦さまの誕生をよろこび竜王

が甘露の雨を降らせ産湯としたと伝えられて、います。ルンビニ園のすがたを表した「花御堂（はなみどう）」の中央には天地を指差したお釈迦様の生仏を安置し、甘露の雨である甘茶をかける華やかにお祝いします。お釈迦様の私達の心への誕生をよろこび花祭りを行いました。



みおしえ

南無妙法蓮華經と唱え、釈尊の誕生を喜び、私たちの心にお釈迦様の仏性が生まれたことを祝いましょう。仏性は私たちの心に住むお釈迦様です。このお釈迦様に困ったときは相談し、よいことがあったら感謝し、ありがたう愛して、南無妙法蓮華經と伝えましょう。

自分の心のお釈迦様を本当の自分とし、南無妙法蓮華經と祈りの生活をしよう。仏様のような心となり、健康な肉体で安心の生活を送ることができます。楽しい喜びの生活をし、人にも幸福になつて、いただきたいと思ふのが心の中のお釈迦様の気持ち。その気持ちに南無妙法蓮華經としたが、愛の生活をしよう。

宇宙の全ては自分の現れ、祈り行いで、大宇宙の地球環境を守り浄化し改善しよう。人類は全生命保護者となりねばいけません。それが人類の存在意義であり使命です。お釈迦様の心は、法華經譬喩品第三の「今此三界・皆是我有・其中衆生・悉是吾子」との言葉のごとく、「この世界は皆私の治めるもの、その中の人類は皆私の子供です」というお気持ちです。この言葉を私たちの心としましょう。

心の言葉

南無妙法蓮華經と唱え、釈尊の誕生を喜び、私たちの心にお釈迦様の仏性が生まれたことを祝いましょう。

